

## □ 仕事と生活の調和について

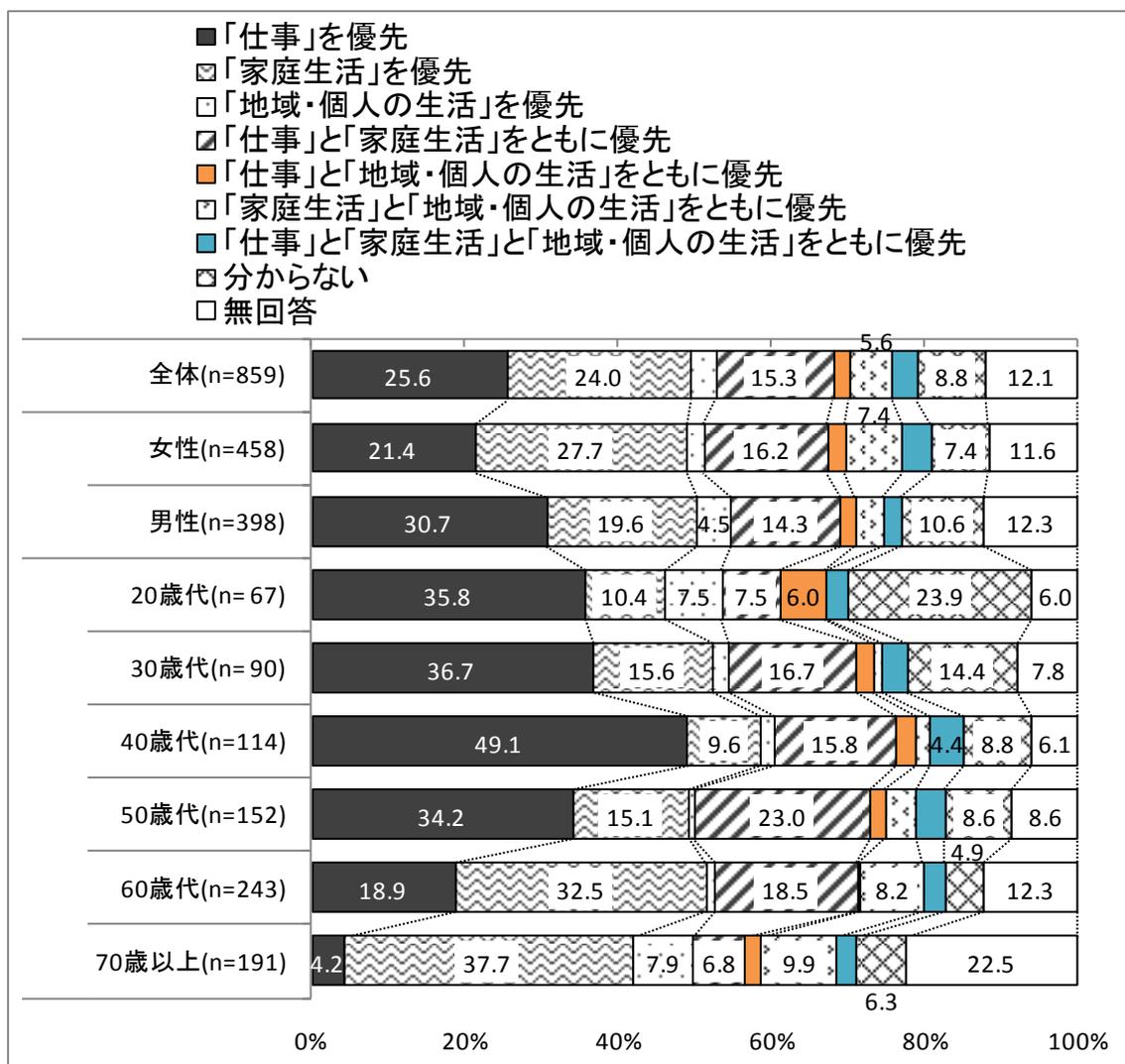
### 問12 生活の中における優先度について

あなたの生活の中で何を優先するのか、希望に最も近いものはどれですか。また、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。1つだけ選んで○をつけてください。

#### ① 現実

⇒現実では、女性は「家庭生活」を、男性は「仕事」を優先している。

生活の中における優先度について【現実】(全体・性別・年代別) 単位 (%)



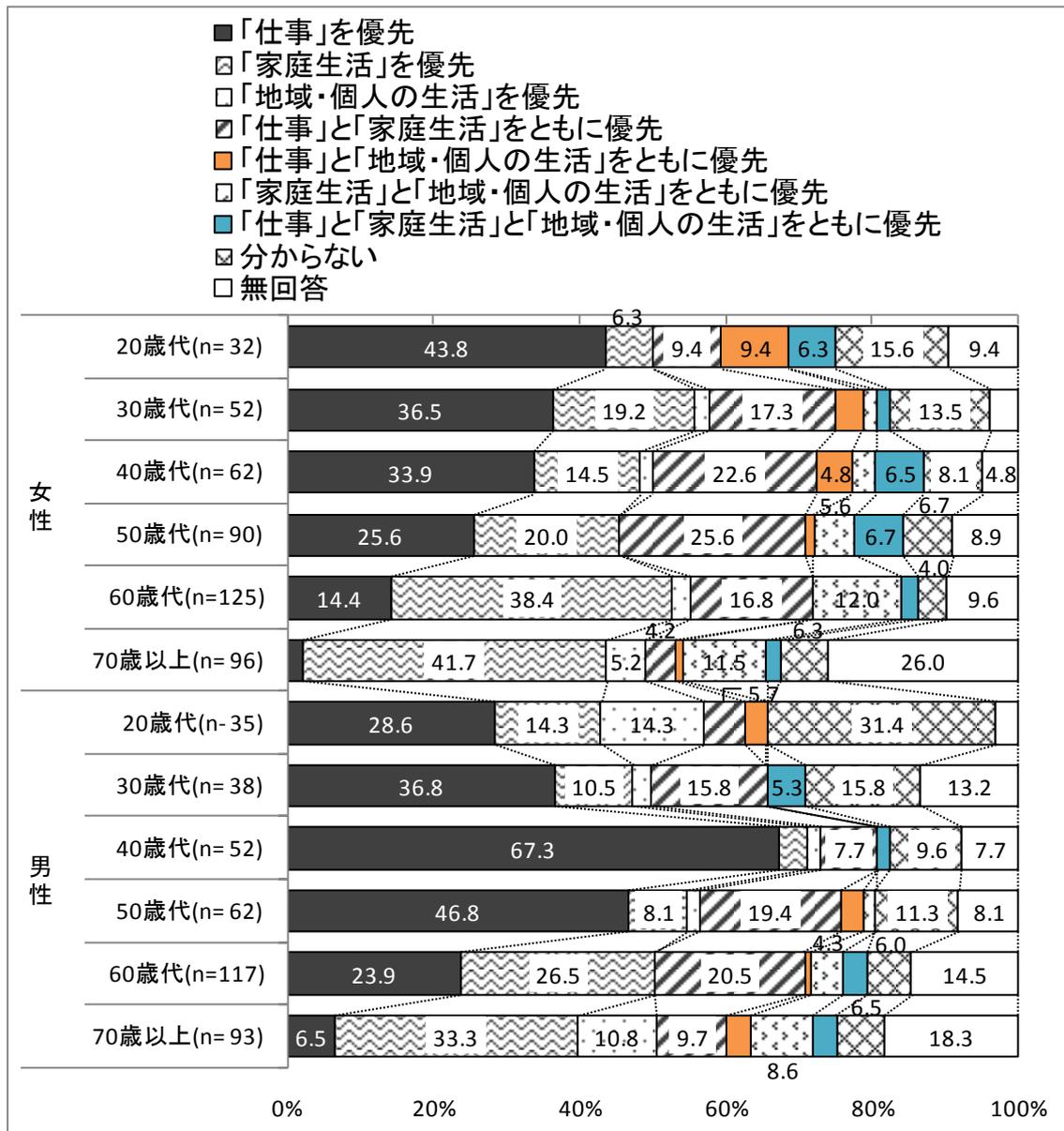
生活の中において何を優先するのか、現実にもっと近いものについて聞いたところ、全体では、「仕事を優先」の割合が25.6%、次いで「家庭生活を優先」が24.0%、「仕事と家庭生活をともに優先」が15.3%と続いている。

性別で見ると、女性では「家庭生活を優先」、男性では「仕事を優先」の割合が最も高くな

っている。

年代別で見ると、他の年代と比べ40歳代では、「仕事を優先」の割合が49.1%と最も高く、「家庭生活を優先」が9.6%と最も低くなっている。50歳以上では「仕事を優先」が低くなり、「家庭生活を優先」が高くなっている。

生活の中における優先度について【現実】（性×年代別） 単位（%）



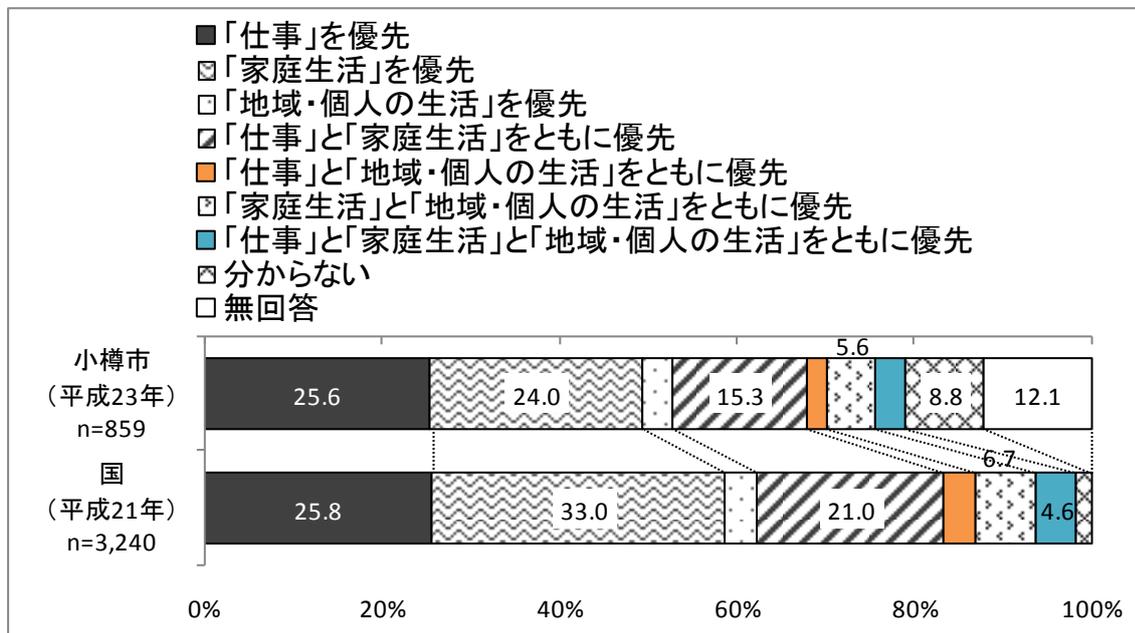
性×年代別で見ると、女性では、年代が上がるにつれて「仕事を優先」の割合が低くなり、「家庭生活を優先」が高くなる傾向となっている。40～50歳代では、「仕事と家庭生活をともに優先」の方が「家庭生活を優先」より高くなっている。

男性では、「仕事を優先」の割合は、40歳代の67.3%が最も高くなっている。60歳以上では

「家庭生活を優先」が高くなっている。

生活の中における優先度について【現実】（国との比較）

単位（％）

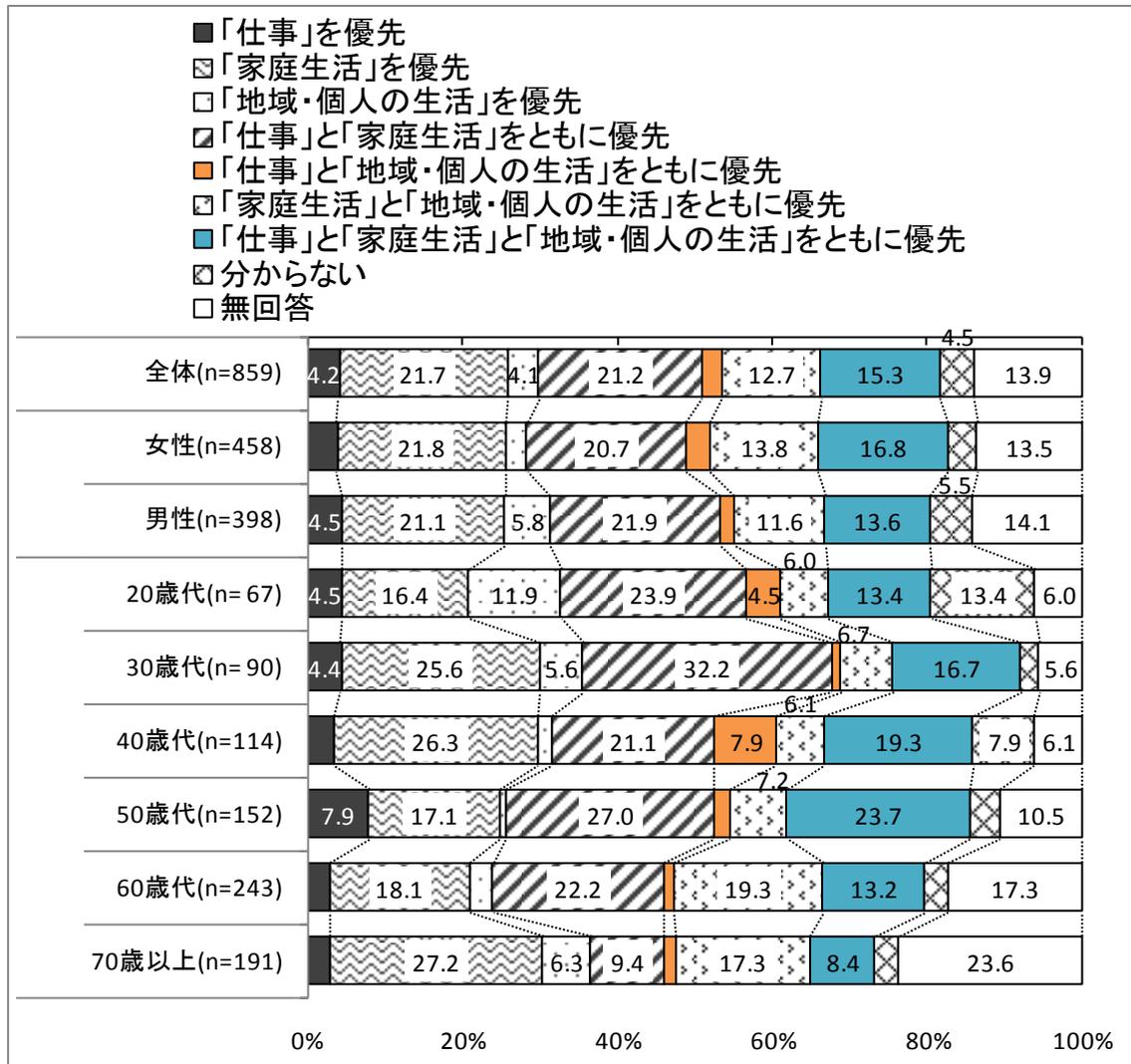


国と比較すると、「仕事を優先」の割合はほぼ同じで、「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活をともに優先」は小樽市の方が低くなっている。

② 希望

⇒男女とも「家庭生活を優先」と「仕事と家庭生活をともに優先」の割合が高い。

生活の中における優先度について【希望】（全体・性別・年代別） 単位（％）



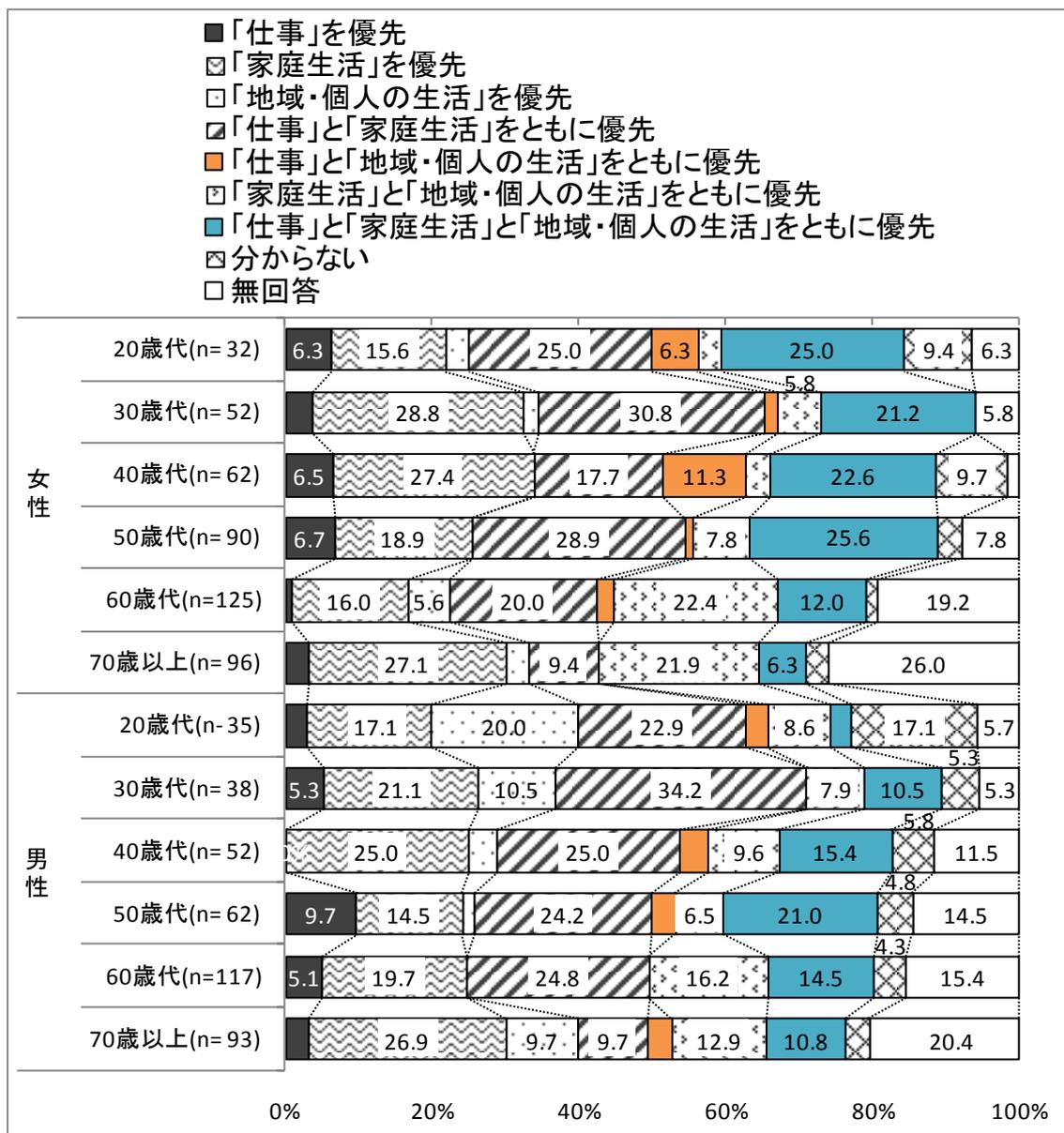
生活の中において何を優先するのか、希望に最も近いものについて聞いたところ、全体では、「家庭生活を優先」の割合が21.7%、次いで「仕事と家庭生活をともに優先」が21.2%、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が15.3%、「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が12.7%と続いている。

性別で見ると、男女とも「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活をともに優先」の割合が高くなっている。

年代別で見ると、「仕事と家庭生活をともに優先」の割合が30歳代では32.2%と最も高くなっている。「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が、他の年代に比べ60歳以上で高くなっている。

生活の中における優先度について【希望】（性×年代別）

単位（％）

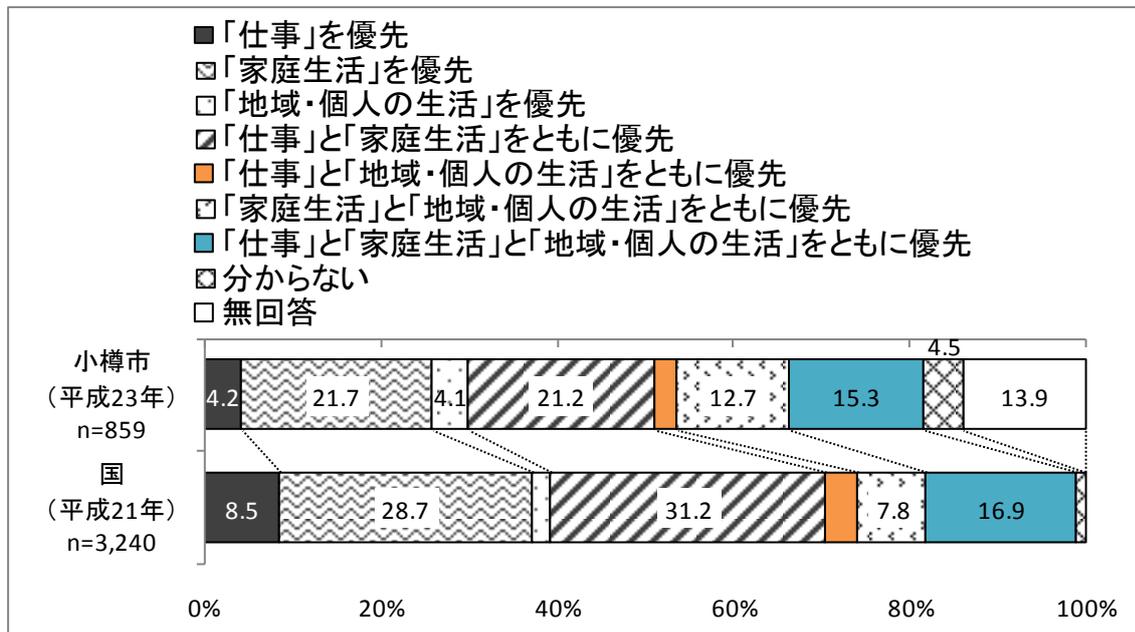


性×年代別で見ると、女性では、「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活をともに優先」の割合が全体的に高い傾向にあるものの、年代による違いは余り見られない。

男性では、「仕事と家庭生活をともに優先」の割合は、70歳以上を除く全ての年代で高くなっている。また、「仕事を優先」は40歳代で希望する人はいなかった。

生活の中における優先度について【希望】（国と比較）

単位（％）



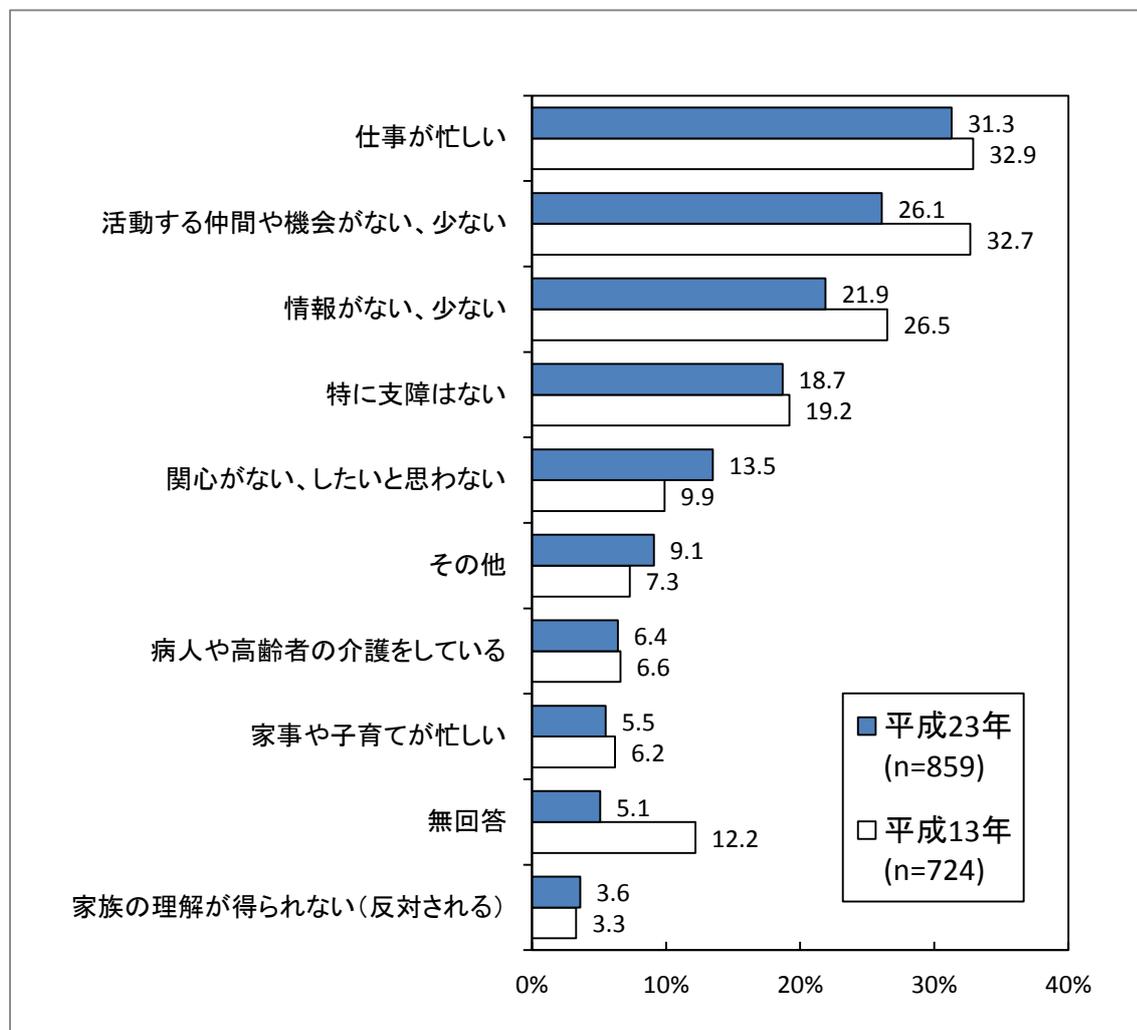
国と比較すると、「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活をともに優先」の割合は、小樽市の方が低くなっているが、「家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」は、小樽市の方が高くなっている。

問13 地域活動等への参加時における支障について（複数回答）

あなたが、仕事以外の地域活動やボランティア活動、趣味などを行う場合に、支障となることはどのようなことですか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

⇒「仕事が忙しい」「活動する仲間や機会がない、少ない」が支障となっている。

地域活動等への参加時における支障について（前回調査との比較） 単位（％）



（複数回答）

地域活動等への参加時における支障について聞いたところ、「仕事が忙しい」の割合が31.3%、次いで「活動する仲間や機会がない、少ない」が26.1%、「情報がない、少ない」が21.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「仕事が忙しい」「活動する仲間や機会がない、少ない」「情報がない、少ない」の割合が減少し、「関心がない、したいと思わない」が増加している。

地域活動等への参加時における支障について（全体・性別・年代別） 単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	特に支障はない	関心がない、したいと思わない	
	31.3	26.1	21.9	18.7	13.5	
女性	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	特に支障はない	関心がない、したいと思わない	
	27.5	24.7	21.8	19.0	11.4	
男性	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	特に支障はない	関心がない、したいと思わない	
	35.9	27.6	21.9	18.1	16.1	
年代別	20歳代	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	関心がない、したいと思わない	情報がない、少ない	特に支障はない
	46.3	29.9	23.9	19.4	13.4	
	30歳代	仕事が忙しい	情報がない、少ない	活動する仲間や機会が少ない	家事や子育てが忙しい	関心がない、したいと思わない
	50.0	27.8	21.1	18.9	16.7	
	40歳代	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	特に支障はない	情報がない、少ない	関心がない、したいと思わない
	48.2	27.2	17.5	16.7	14.0	
	50歳代	仕事が忙しい	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	特に支障はない	関心がない、したいと思わない
45.4	24.3	22.4	17.8	14.5		
60歳代	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	仕事が忙しい	特に支障はない	関心がない、したいと思わない	
30.0	25.9	24.7	17.7	11.5		
70歳以上	特に支障はない	活動する仲間や機会が少ない	情報がない、少ない	その他	無回答	
27.7	22.5	各16.8		11.5		

（複数回答）

性別で見ると、男女とも高い割合の順は同じとなっている。「仕事が忙しい」「活動する仲間や機会が少ない」「関心がない、したいと思わない」の割合は、男性の方が女性より高くなっている。

年代別で見ると、20～50歳代では「仕事が忙しい」、60歳代では「活動する仲間や機会が少ない」の割合が最も高くなっている。

地域活動等への参加時における支障について（性×年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	仕事が忙しい 40.6	活動する仲間や機会が 少ない 34.4	情報が無い、少ない 28.1	特に支障はない 18.8	関心がない、したいと 思わない 12.5
	30歳代	仕事が忙しい 42.3	情報が無い、少ない 30.8	家事や子育てが忙しい 28.8	特に支障はない 15.4	・活動する仲間や機会 が少ない ・関心がないしたいと 思わない ・その他 各11.5
	40歳代	仕事が忙しい 41.9	活動する仲間や機会が 少ない 21.0	特に支障はない 19.4	家事や子育てが忙しい 各14.5	関心がない、したいと 思わない
	50歳代	仕事が忙しい 43.3	活動する仲間や機会が 少ない 26.7	情報が無い、少ない 22.2	特に支障はない 16.7	病人や高齢者の介護を している 13.3
	60歳代	活動する仲間や機会が 少ない 27.2	情報が無い、少ない 22.4	仕事が忙しい 20.0	特に支障はない 18.4	関心がない、したいと 思わない 12.8
	70歳以上	活動する仲間や機会が 少ない 25.0	特に支障はない 24.0	情報が無い、少ない 18.8	その他 16.7	無回答 13.5
	20歳代	仕事が忙しい 51.4	関心がない、したいと 思わない 34.3	活動する仲間や機会が 少ない 25.7	情報が無い、少ない 11.4	・病人や高齢者の介護 をしている ・家族の理解が得られ ない ・特に支障はない 各8.6
30歳代	仕事が忙しい 60.5	活動する仲間や機会が 少ない 34.2	情報が無い、少ない 各23.7	関心がない、したいと 思わない	その他 10.5	
40歳代	仕事が忙しい 55.8	活動する仲間や機会が 少ない 34.6	情報が無い、少ない 21.2	特に支障はない 15.4	関心がない、したいと 思わない 13.5	
50歳代	仕事が忙しい 48.4	情報が無い、少ない 22.6	活動する仲間や機会が 少ない 各21.0	関心がない、したいと 思わない	特に支障はない 19.4	
60歳代	活動する仲間や機会が 少ない 32.5	仕事が忙しい 29.9	情報が無い、少ない 29.1	特に支障はない 17.1	関心がない、したいと 思わない 10.3	
70歳以上	特に支障はない 30.1	活動する仲間や機会が 少ない 20.4	その他 17.2	情報が無い、少ない 15.1	関心がない、したいと 思わない 11.8	

（複数回答）

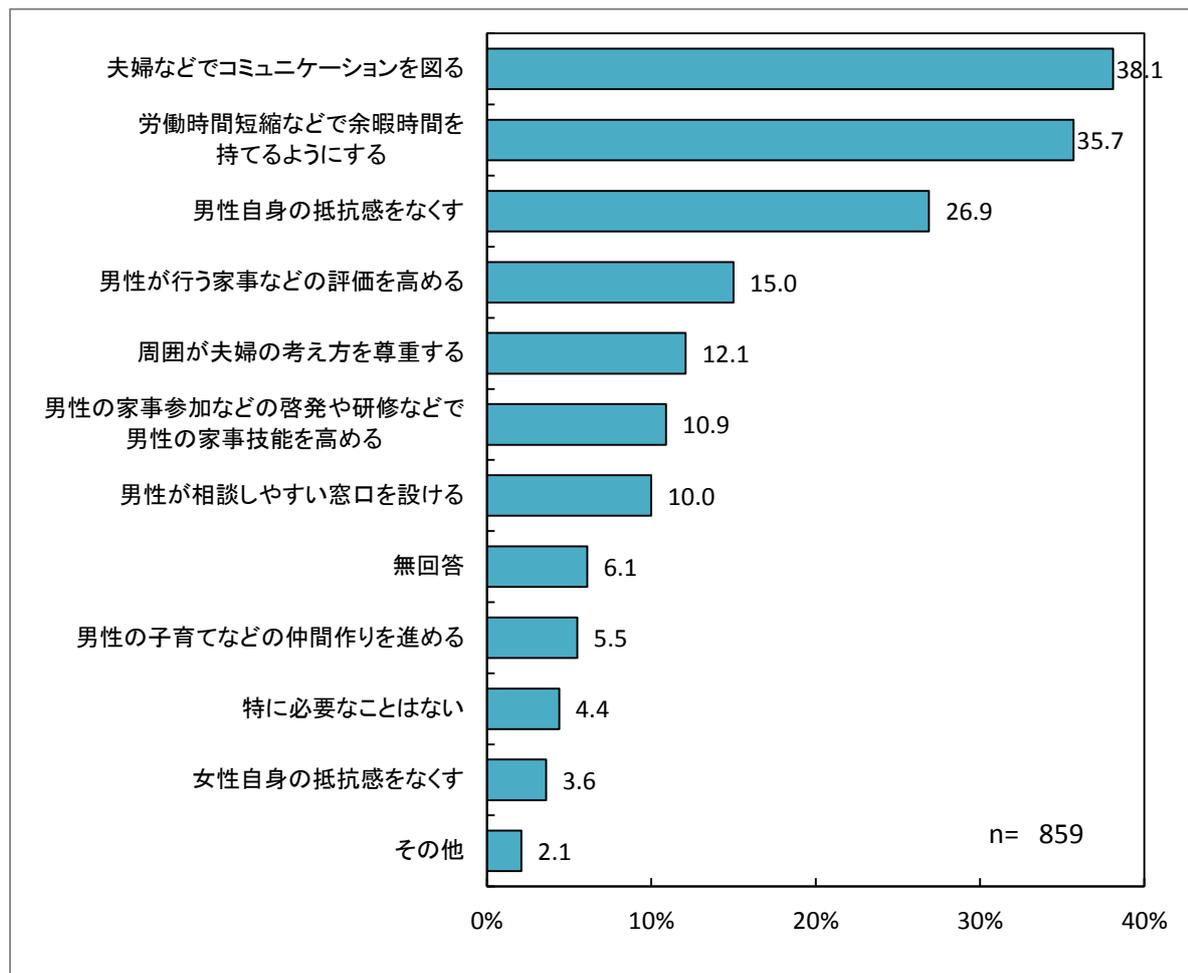
性×年代別で見ると、男女とも20～50歳代では「仕事が忙しい」の割合が最も高く、60歳以上では「活動する仲間や機会が少ない」が高くなっている。

問14 男性が家事、子育てなどに参加するために必要なことについて（複数回答）

今後、男性が女性とともに、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

⇒「夫婦などでコミュニケーションを図る」「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」が上位を占めた。

男性が家事、子育てなどに参加するために必要なことについて（全体） 単位（％）



（複数回答）

男性が家事、子育てなどに参加するために必要なことについて聞いたところ、「夫婦などでコミュニケーションを図る」の割合が38.1%と最も高く、次いで「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」が35.7%、「男性自身の抵抗感をなくす」が26.9%と続いている。

男性が家事、子育てなどに参加するために必要なことについて

(全体・性別・年代別) 単位 (%)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	夫婦などでコミュニケーションを図る	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	男性自身の抵抗感をなくす	男性が行う家事などの評価を高める	周囲が夫婦の考え方を尊重する	
		38.1	35.7	26.9	15.0	12.1
女性	夫婦などでコミュニケーションを図る	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	男性自身の抵抗感をなくす	男性が行う家事などの評価を高める	周囲が夫婦の考え方を尊重する	
		40.0	34.1	28.2	16.2	12.0
男性	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性自身の抵抗感をなくす	男性が行う家事などの評価を高める	周囲が夫婦の考え方を尊重する	
		37.9	35.7	25.6	13.8	12.1
年代別	20歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性が行う家事などの評価を高める	男性自身の抵抗感をなくす	男性が相談しやすい窓口を設ける
			50.7	28.4	22.4	17.9
	30歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性自身の抵抗感をなくす	男性が行う家事などの評価を高める	周囲が夫婦の考え方を尊重する
			53.3	26.7	各23.3	
	40歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	男性自身の抵抗感をなくす	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性が行う家事などの評価を高める	・男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める ・男性の子育てなどの仲間作りを進める
			42.1	36.8	23.7	21.9
	50歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性自身の抵抗感をなくす	男性が行う家事などの評価を高める	男性が相談しやすい窓口を設ける
			43.4	37.5	27.6	15.1
	60歳代	夫婦などでコミュニケーションを図る	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	男性自身の抵抗感をなくす	周囲が夫婦の考え方を尊重する	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める
			48.1	27.6	27.2	15.2
	70歳以上	夫婦などでコミュニケーションを図る	男性自身の抵抗感をなくす	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする	周囲が夫婦の考え方を尊重する	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める
			42.9	25.1	22.5	15.2

(複数回答)

性別で見ると、女性では「夫婦などでコミュニケーションを図る」、男性では「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」の割合が最も高くなっている。

年代別で見ると、20～50歳代では「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」、60歳以上では「夫婦などでコミュニケーションを図る」の割合が最も高くなっている。

男性が家事、子育てなどに参加するために必要なことについて

(性×年代別) 単位 (%)

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 40.6	夫婦などでコミュニケーションを図る 31.3	社会の中で、男性が行う家事などについての評価を高める 25.0	男性の子育てなどの仲間作りを進める 18.8	男性が相談しやすい窓口を設ける 15.6
	30歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 57.7	夫婦などでコミュニケーションを図る 各26.9	男性自身の抵抗感をなくす 各26.9	男性が行う家事などの評価を高める 23.1	周囲が夫婦の考え方を尊重する 9.6
	40歳代	男性自身の抵抗感をなくす 40.3	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 33.9	夫婦などでコミュニケーションを図る 29.0	男性が行う家事などの評価を高める 22.6	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める 11.3
	50歳代	夫婦などでコミュニケーションを図る 44.4	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 38.9	男性自身の抵抗感をなくす 27.8	男性が行う家事などの評価を高める 18.9	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める 16.7
	60歳代	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる 50.4	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 各27.2	男性自身の抵抗感をなくす 各27.2	周囲が夫婦の考え方を尊重する 11.2	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める 10.4
	70歳以上	夫婦などでコミュニケーションを図る 39.6	男性自身の抵抗感をなくす 28.1	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 24.0	無回答 15.6	周囲が夫婦の考え方を尊重する 10.4
	20歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 60.0	夫婦などでコミュニケーションを図る 25.7	男性自身の抵抗感をなくす 22.9	男性が行う家事などの評価を高める 20.0	男性が相談しやすい窓口を設ける 17.1
30歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 47.4	夫婦などでコミュニケーションを図る 26.3	男性が行う家事などの評価を高める 23.7	男性自身の抵抗感をなくす 18.4	周囲が夫婦の考え方を尊重する 13.2	
40歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 51.9	男性自身の抵抗感をなくす 32.7	男性が行う家事などの評価を高める 21.2	夫婦などでコミュニケーションを図る 17.3	・女性自身の抵抗感をなくす ・無回答 各9.6	
50歳代	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 50.0	夫婦などでコミュニケーションを図る 各27.4	男性自身の抵抗感をなくす 各27.4	男性が相談しやすい窓口を設ける 12.9	・周囲が夫婦の考え方を尊重する ・男性が行う家事などの評価を高める 各9.7	
60歳代	夫婦などでコミュニケーションを図る 45.3	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 28.2	男性自身の抵抗感をなくす 27.4	周囲が夫婦の考え方を尊重する 13.7	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める 12.8	
70歳以上	夫婦などでコミュニケーションを図る 46.2	男性自身の抵抗感をなくす 22.6	労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする 21.5	周囲が夫婦の考え方を尊重する 19.4	男性の家事参加などの啓発や研修などで家事技能を高める 16.1	

(複数回答)

性×年代別で見ると、女性では、20～30歳代は「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」、40歳代は「男性自身の抵抗感をなくす」、50歳以上は「夫婦などでコミュニケーションを図る」の割合が最も高くなっている。

男性では、20～50歳代は「労働時間短縮などで余暇時間を持てるようにする」、60歳以上は「夫婦などでコミュニケーションを図る」の割合が最も高くなっている。

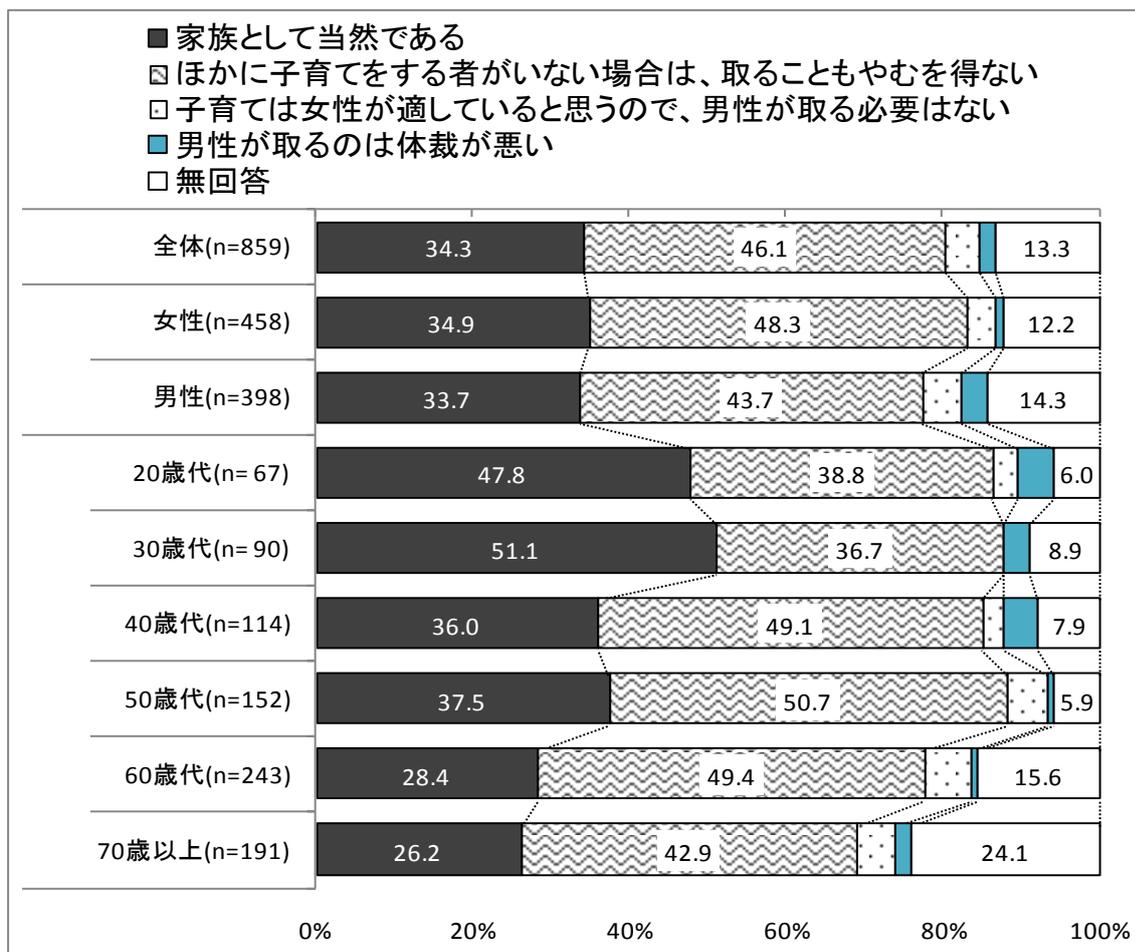
問15 男性が育児休業や介護休業を取ることにについて

あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにについてどう思いますか。当てはまる項目を1つだけ選んで○をつけてください。

① 育児休業

⇒「ほかに子育てをする者がいない場合はやむを得ない」が約46%、「家族として当然である」が約34%と続く。

男性が育児休業を取ることにについて（全体・性別・年代別） 単位（%）



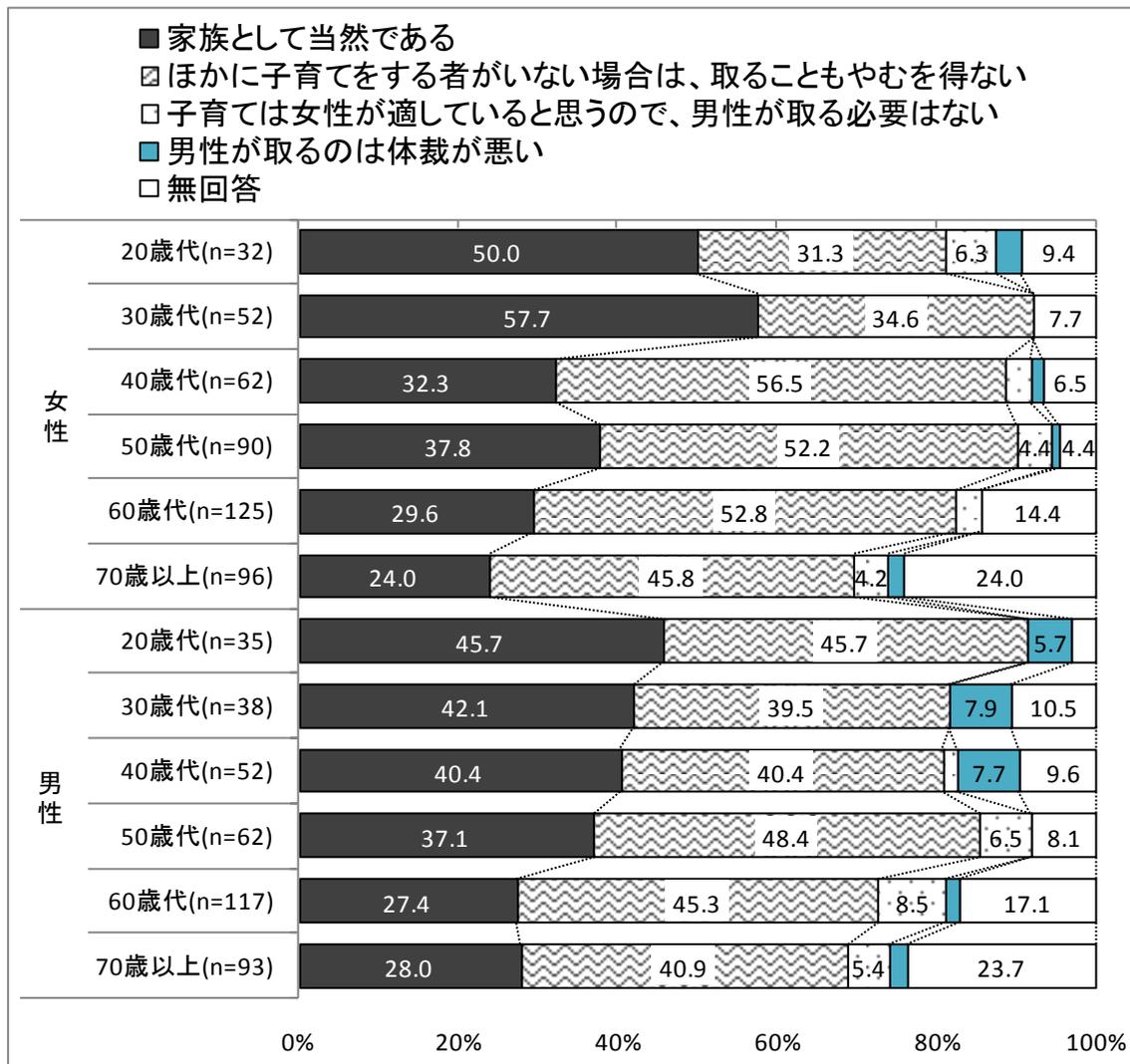
男性が育児休業を取ることにについて聞いたところ、全体では、「ほかに子育てをする者がいない場合は取ることもやむを得ない」の割合が46.1%、次いで「家族として当然である」が34.3%となっている。

性別で見ると、「家族として当然である」「ほかに子育てをする者がいない場合は取ることもやむを得ない」の割合は、女性の方が高くなっている。また、「子育ては女性が適していると思うので、男性が取る必要はない」「男性が取るのは体裁が悪い」は、男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「家族として当然である」の割合が30歳代で最も高くなっており、年代が上がるにつれて低くなっている。

男性が育児休業を取ることにについて（性×年代別）

単位（％）



性×年代別で見ると、女性では、「家族として当然である」「ほかに子育てをする者がいない場合は取ることもやむを得ない」の割合が30歳代で最も高く、40歳以上では年代が上がるにつれて低くなる傾向となっている。

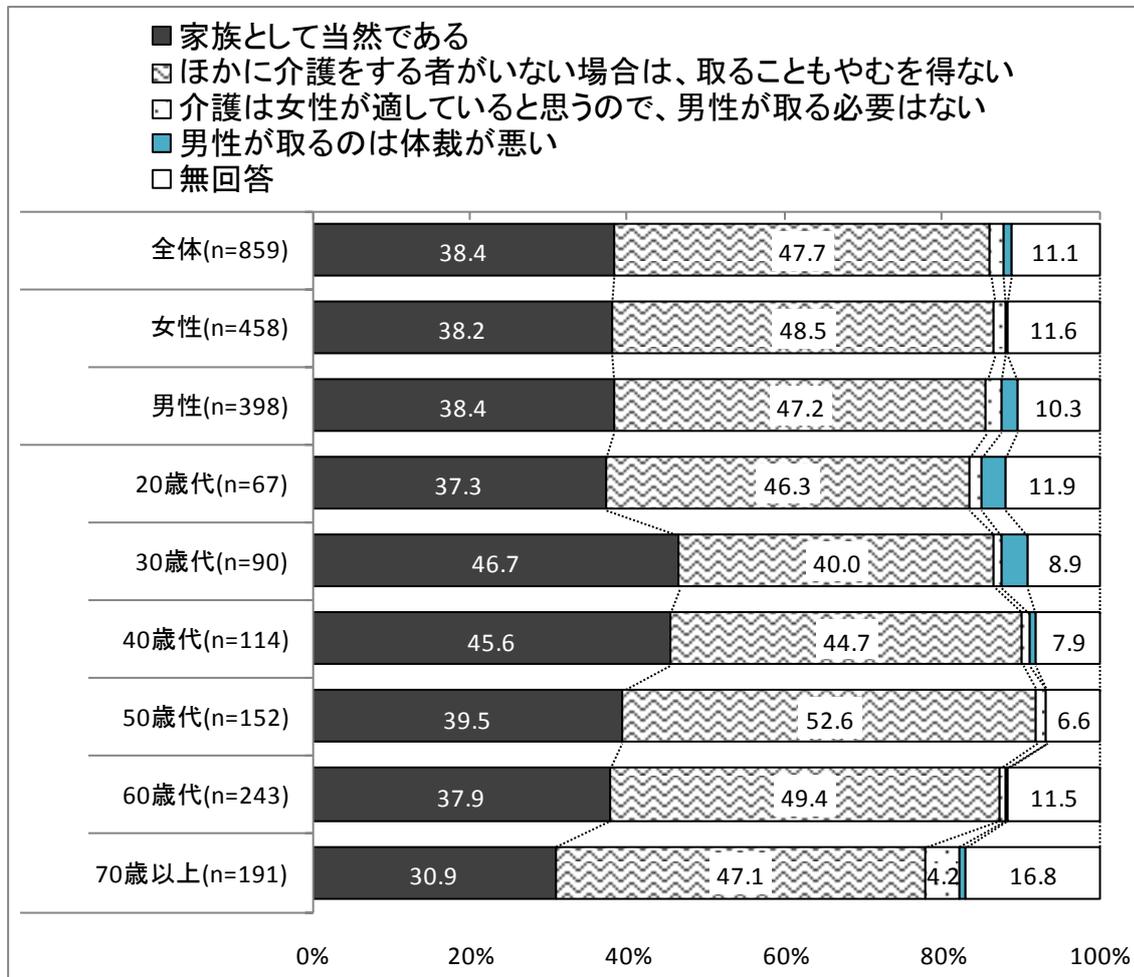
男性では、「家族として当然である」「ほかに子育てをする者がいない場合は取ることもやむを得ない」の割合が20歳代で最も高く、50歳代を除き年代が上がるにつれて低くなっている。

## ② 介護休業

⇒「ほかに介護をする者がいない場合はやむを得ない」が約48%、「家族として当然である」が約38%と続く。

男性が介護休業を取ることにについて（全体・性別・年代別）

単位（%）



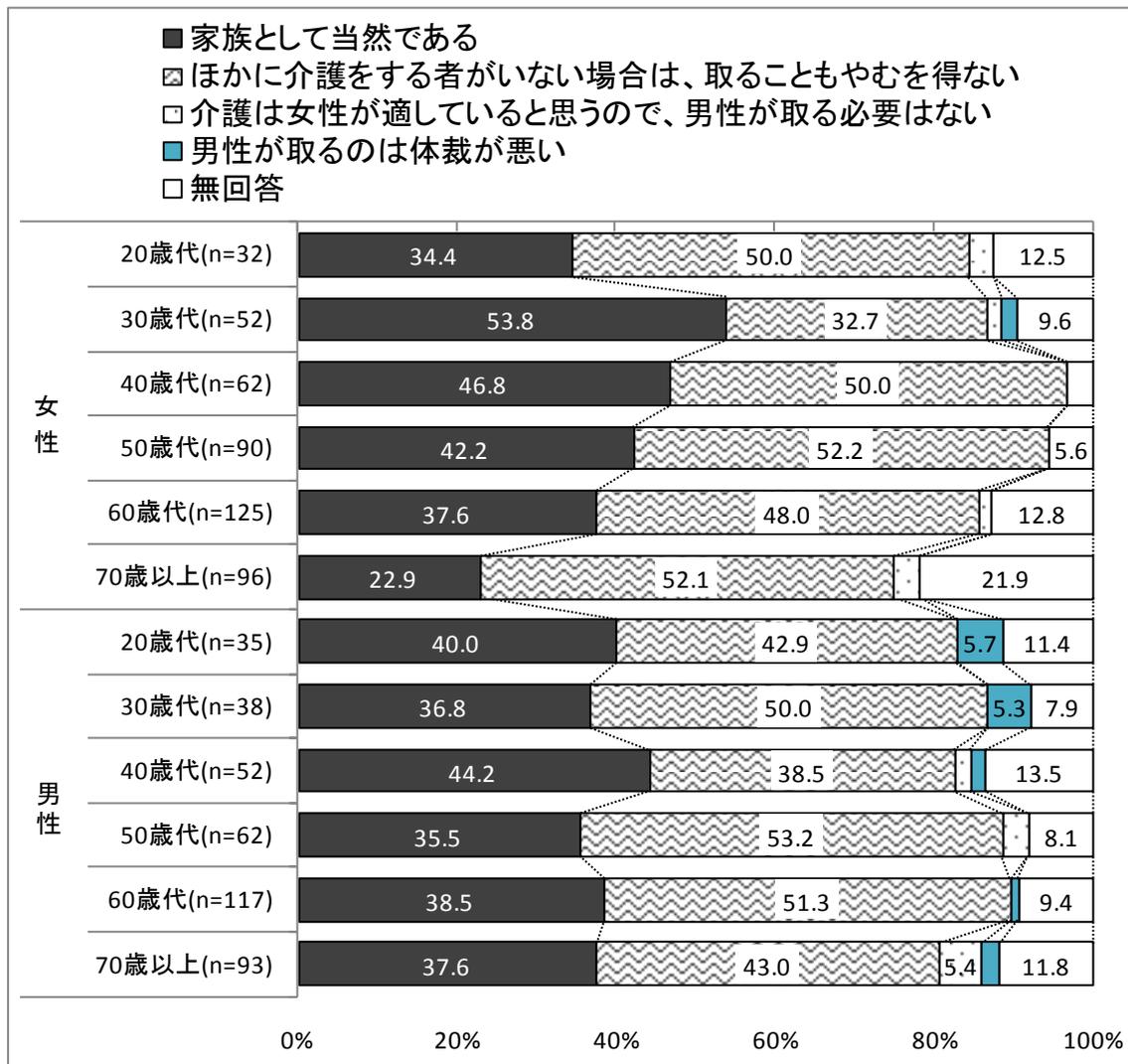
男性が介護休業を取ることにについて聞いたところ、全体では、「ほかに介護をする者がいない場合は、取ることもやむを得ない」の割合が47.7%、次いで「家族として当然である」が38.4%となっている。

性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、「家族として当然である」「ほかに介護をする者がいない場合は、取ることもやむを得ない」の割合が全ての年代で最も高くなっている。

男性が介護休業を取ることにについて（性×年代別）

単位（％）



性×年代別で見ると、「家族として当然である」「ほかに介護をする者がいない場合は、取ることもやむを得ない」の割合が、男女とも全ての年代で最も高くなっている。

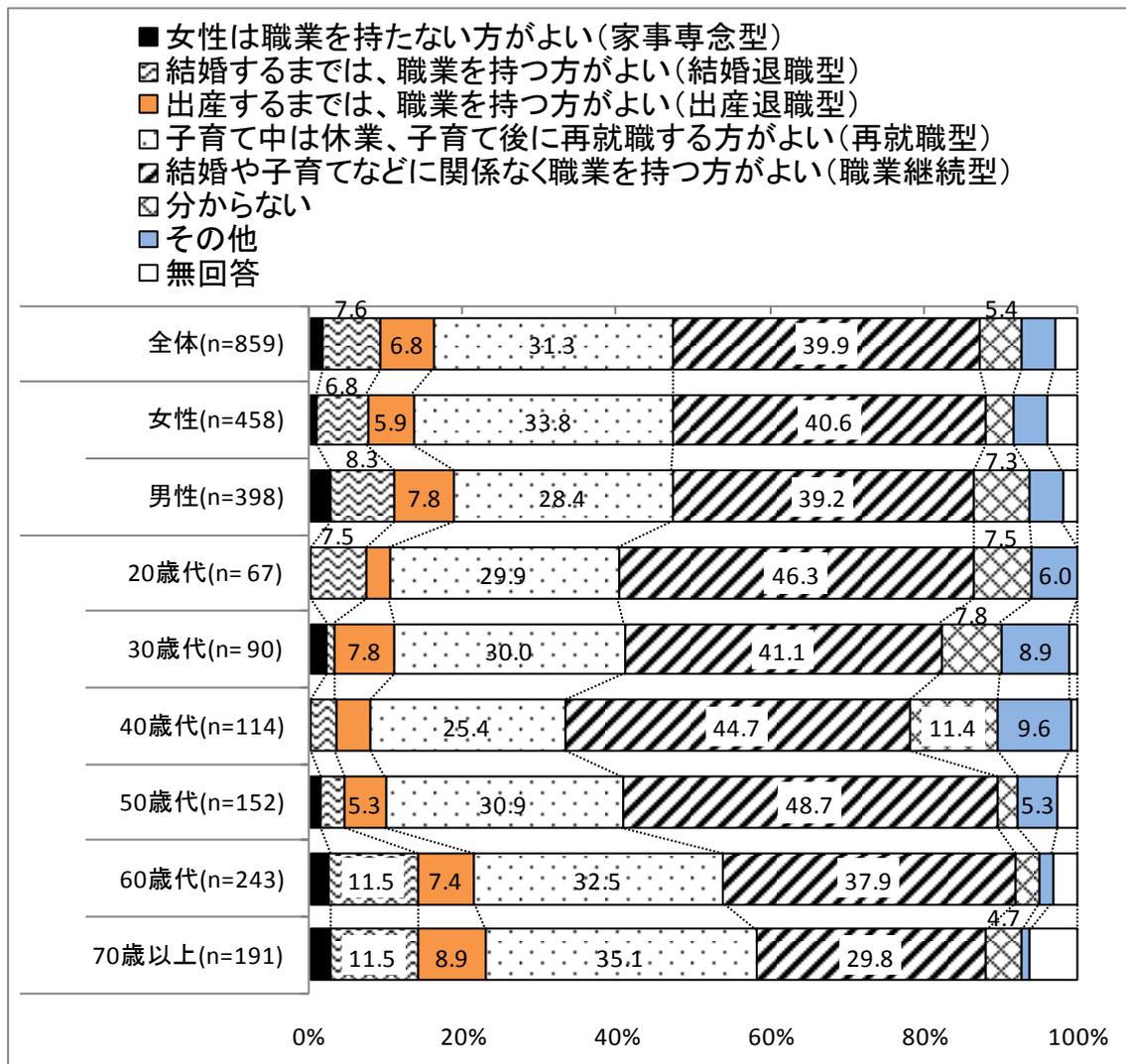
問16 女性が職業を持つことについて

女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか。当てはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

⇒1位「職業継続型」約40%、2位「再就職型」約31%となった。

女性が職業を持つことについて（全体・性別・年代別）

単位（%）



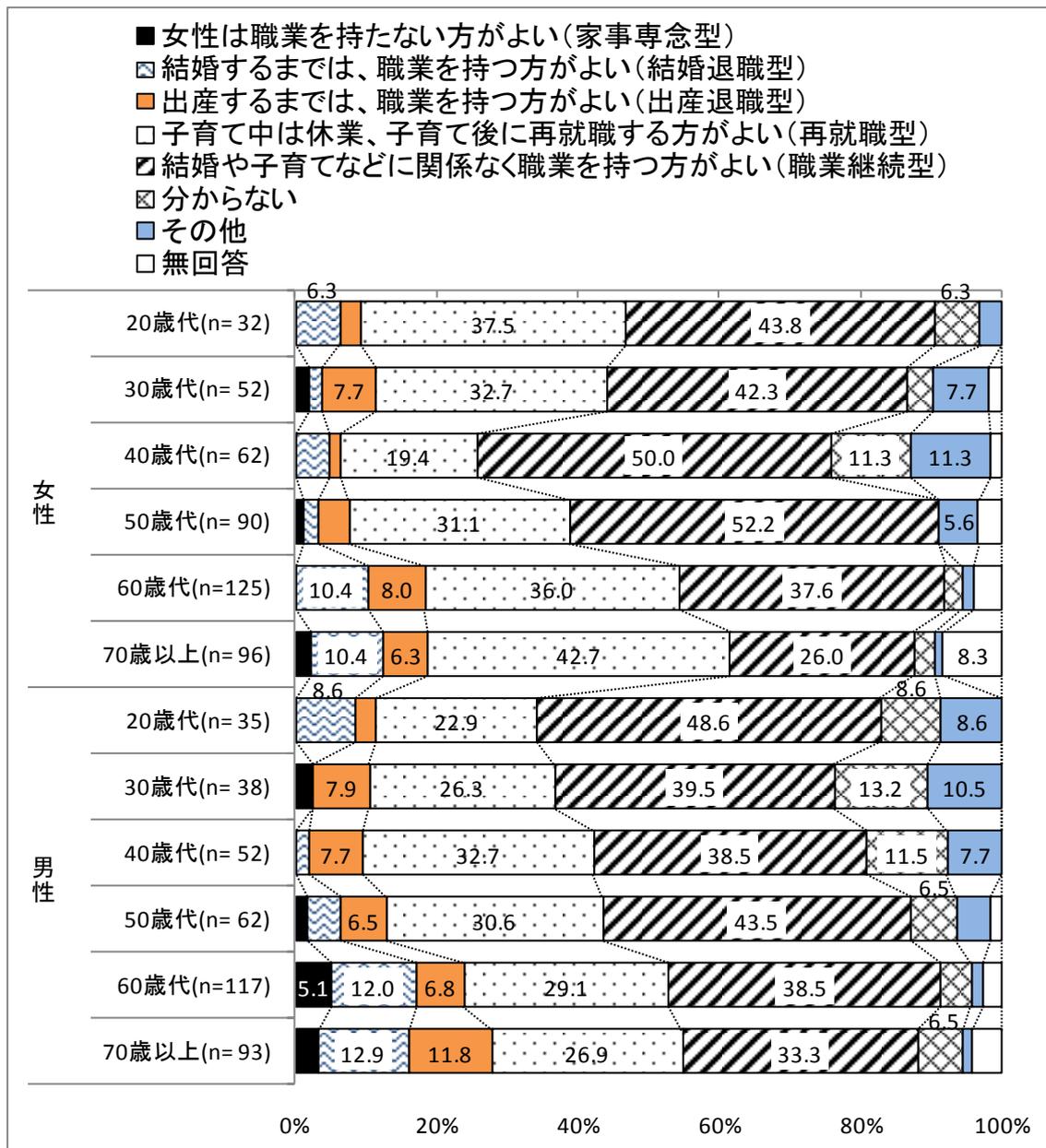
女性が職業を持つことについて聞いたところ、全体では、「職業継続型」の割合が39.9%、次いで「再就職型」が31.3%となっている。

性別で見ると、「再就職型」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「職業継続型」の割合は70歳以上を除く全ての年代で最も高くなっている。

女性が職業を持つことについて（性×年代別）

単位（％）

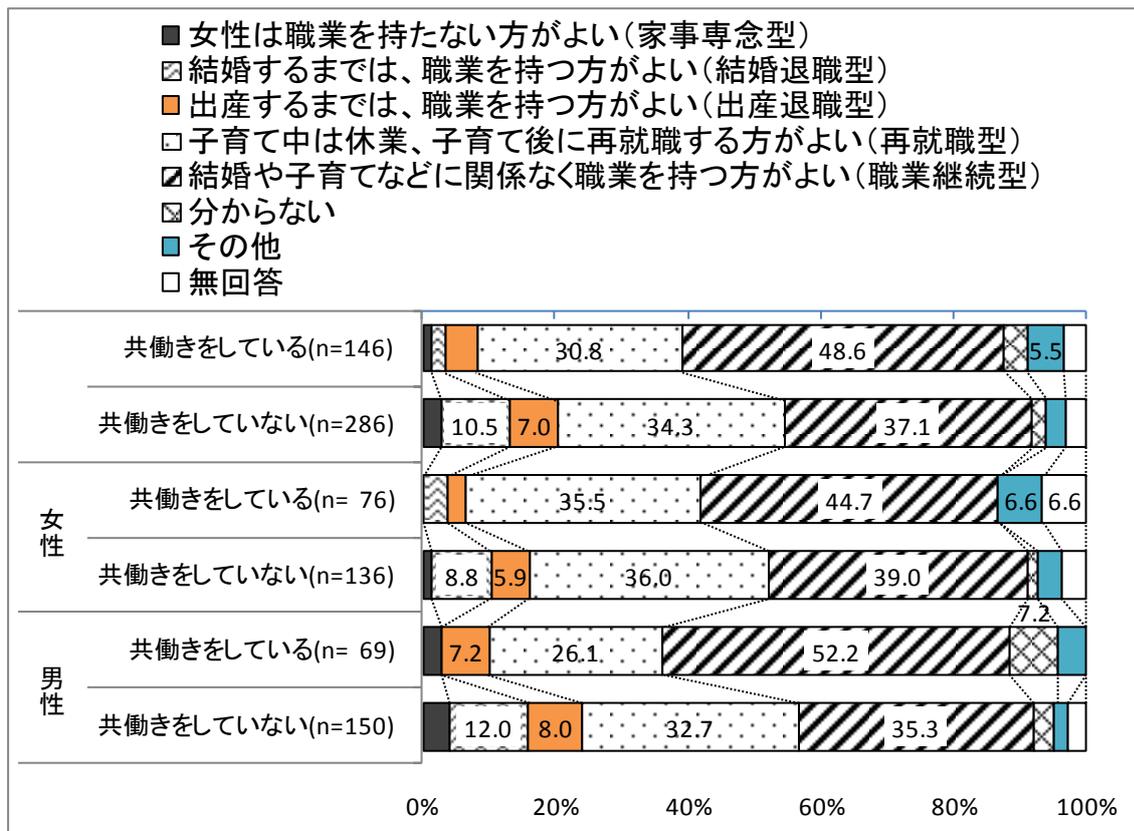


性×年代別で見ると、女性では、「職業継続型」の割合が70歳以上を除く全ての年代で30%を超え、40～50歳代では50%を超えている。

男性では、「職業継続型」の割合が全ての年代で30%を超え、20歳代、50歳代では40%を超えている。

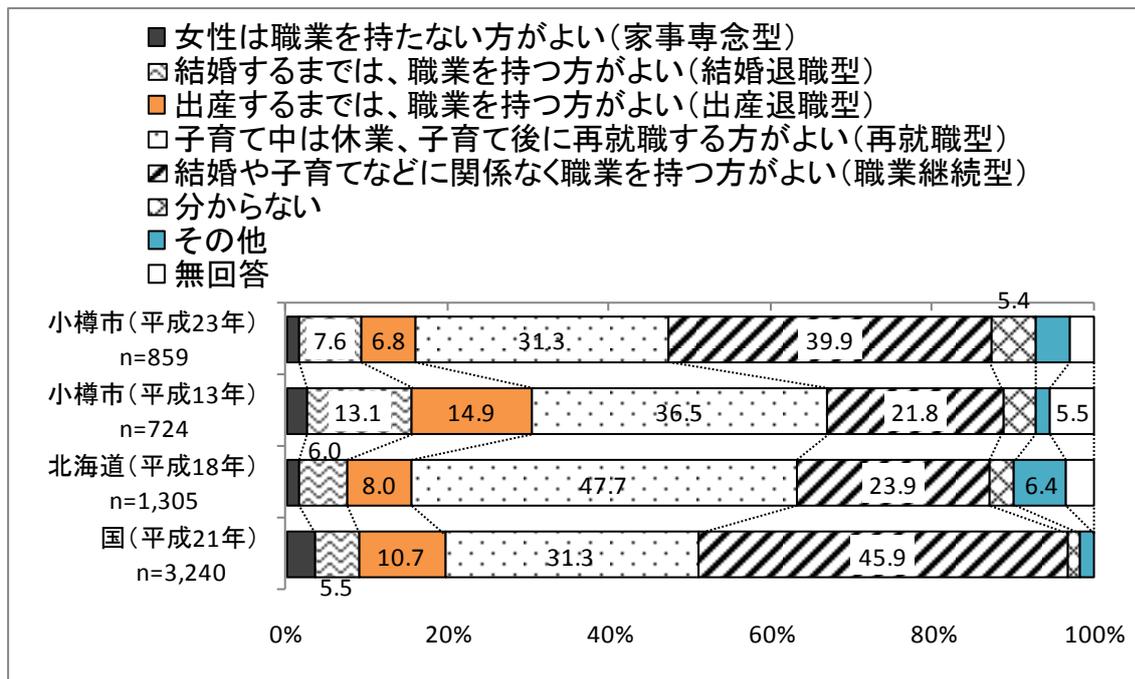
女性が職業を持つことについて（共働き別・性×共働き別）

単位（％）



共働き別で見ると、「職業継続型」の割合は、共働きをしている人の方が高くなっている。性×共働き別で見ると、「職業継続型」の割合は、共働きをしている男性が最も高く52.2%となっている。

女性が職業を持つことについて（前回調査・北海道・国との比較） 単位（％）



前回調査と比較すると、「職業継続型」の割合が増加し、「結婚退職型」「出産退職型」「再就職型」が減少している。

北海道、国と比較すると、「職業継続型」の割合は、小樽市の方が北海道より高く、国より低くなっている。

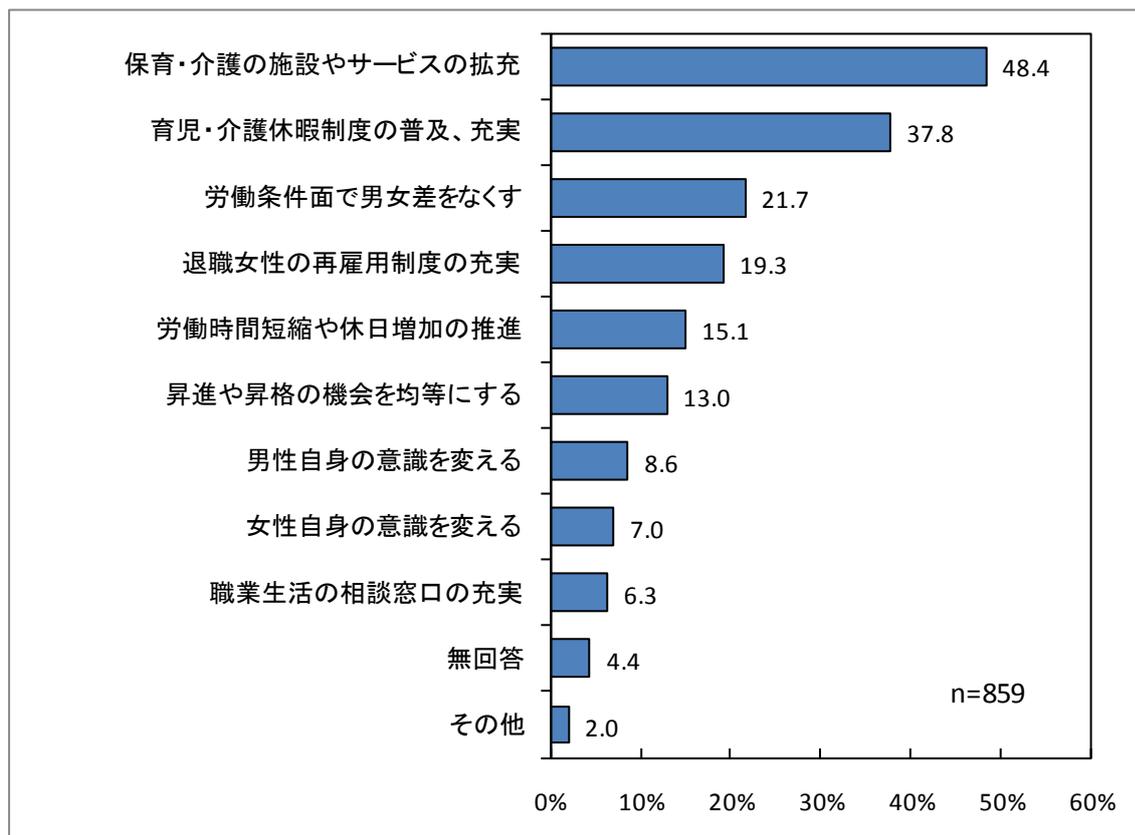
問17 女性の職場進出のための条件整備について（複数回答）

女性の職場進出を促進するために、どのような条件整備が必要だと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

⇒「保育・介護の施設やサービスの拡充」「育児・介護休暇制度の普及、充実」が上位を占めた。

女性の職場進出のための条件整備について（全体）

単位（％）



（複数回答）

女性の職場進出のための条件整備について聞いたところ、「保育・介護の施設やサービスの拡充」の割合が48.4%、次いで「育児・介護休暇制度の普及、充実」が37.8%、「労働条件面で男女差をなくす」が21.7%と続いている。

女性の職場進出のための条件整備について（全体・性別・年代別） 単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進	
		48.4	37.8	21.7	19.3	15.1
女性	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進	
		51.5	39.5	20.5	18.3	14.4
男性	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進	
		45.0	36.2	22.9	20.1	16.1
年代別	20歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	昇進や昇格の機会を均等にする
			41.8	37.3	23.9	20.9
	30歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	労働時間短縮や休日増加の推進	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実
			54.4	44.4	17.8	16.7
	40歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	昇進や昇格の機会を均等にする
			54.4	36.0	25.4	各18.4
	50歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	退職女性の再雇用制度の充実	労働条件面で男女差をなくす	昇進や昇格の機会を均等にする
			48.7	45.4	各21.7	
	60歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	退職女性の再雇用制度の充実	労働条件面で男女差をなくす	労働時間短縮や休日増加の推進
			51.0	31.3	22.6	20.6
	70歳以上	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進
			46.6	32.5	22.5	15.2

（複数回答）

性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、20～30歳代では「育児・介護休暇制度の普及、充実」、40歳以上では「保育・介護の施設やサービスの拡充」の割合が最も高くなっている。

女性の職場進出のための条件整備について（性×年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進	・労働条件面で男女差をなくす ・昇進や昇格の機会を均等にする
		50.0	43.8	25.0	18.8	各12.5
	30歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	労働時間短縮や休日増加の推進	昇進や昇格の機会を均等にする	労働条件面で男女差をなくす
		59.6	46.2	各19.2		15.4
	40歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	昇進や昇格の機会を均等にする	退職女性の再雇用制度の充実
		61.3	38.7	21.0	17.7	14.5
	50歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	退職女性の再雇用制度の充実	労働条件面で男女差をなくす	・昇進や昇格の機会を均等にする ・職業生活の相談窓口を充実する
		54.4	45.6	24.4	23.3	各11.1
	60歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進
		52.0	31.2	21.6	19.2	17.6
	70歳以上	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	昇進や昇格の機会を均等にする
		46.9	31.3	21.9	各16.7	
男性	20歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	保育・介護の施設やサービスの拡充	昇進や昇格の機会を均等にする	・退職女性の再雇用制度の充実 ・女性自身の意識を変える
		各34.3		31.4	20.0	各17.1
	30歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	退職女性の再雇用制度の充実	労働条件面で男女差をなくす	労働時間短縮や休日増加の推進
		47.4	42.1	21.1	18.4	15.8
	40歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	昇進や昇格の機会を均等にする
		46.2	32.7	30.8	23.1	19.2
	50歳代	育児・介護休暇制度の普及、充実	保育・介護の施設やサービスの拡充	労働条件面で男女差をなくす	退職女性の再雇用制度の充実	昇進や昇格の機会を均等にする
		45.2	40.3	19.4	各17.7	
	60歳代	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	退職女性の再雇用制度の充実	労働時間短縮や休日増加の推進	労働条件面で男女差をなくす
		50.4	31.6	25.6	20.5	19.7
	70歳以上	保育・介護の施設やサービスの拡充	育児・介護休暇制度の普及、充実	労働条件面で男女差をなくす	労働時間短縮や休日増加の推進	退職女性の再雇用制度の充実
		46.2	34.4	22.6	15.1	12.9

（複数回答）

性×年代別で見ると、男女とも20～30歳代では「育児・介護休暇制度の普及、充実」が、他の年代では男性の50歳代を除き、「保育・介護の施設やサービスの拡充」が最も高くなっている。